

【新刊のご案内】

柴橋伴夫 ミクロコスモスVI シネマの森の中へ

懐かしいシネマの森への誘い!!

数々のシネマの名作との出会い。今も記憶にのこる「シェルプールの雨傘」や「ティファニーで朝食を」。そして「気狂いピエロ」などのヌーヴェル・ヴァーグの〈前衛性〉。「映像の詩人」といわれたアンドレイ・タルコフスキーの「ノスタルジア」などの〈神秘性〉。現代人の孤独を描いたヴィム・ヴェンダース。全部で54のシネマをおさめた。これは私の〈シネマ日記〉でもある。〈論考〉(コラム含む)とコラージュのコラボレーション。200部限定。

柴橋伴夫  ミクロコスモス VI

シネマの森の中へ

Tomoo Shibahashi Mikrokosmos VI



藤田印刷エクセレントブックス

ミクロコスモスVI——「シネマの森の中へ」／目次

まえがきにかえて——タルコフスキーの〈ポエジア〉

I 黙示の愛へ

1. 『ラストタンゴ・イン・パリ』 (Ultimo tango a Parigi)
2. 『二十四時間の情事』 (Hiroshima mon amour) ——アラン・レネ
3. 『さらば、わが愛／霸王別姫』
4. 『ポンヌフの恋人』 (Les Amants du Pont-Neuf)
5. 『めぐり逢う朝』 (Tous les Matins du Monde)
6. 『シェルトリング・スカイ』の〈映像美〉
7. 「カミーユとロダン」——〈アンヴィヴァブルの人生〉
8. 『インド夜想曲』 (Nocturne indien)
9. ルイ・マル——『ダメージ』 (Damage)
10. 淡い恋の香りとブラームス——『仕立て屋の恋』 (Monsieur Hire)
11. 『白の愛』をめぐる随想
12. 『女優マルキーズ』の光と影
13. 『苺とチョコレート』
14. 『カオス・シチリア物語』 (Kaos)
15. 『パリ、テキサス』 (Paris, Texas) の〈冷めた炎〉
16. 『Toxic Affair』
17. 『野性の夜に』 (Les Nuits Fauves)
18. 『インディア・ソング』の〈影〉
19. 『インドシナ』 (Indochine) の悲劇

II 前衛の詩学へ

1. 『気狂いピエロ』 (Pierrot Le Fou) へのオマージュ
2. 『未来世紀ブラジル』 (Brazil)
3. アラン・タネール (Alain Tanner) の「神秘力」
4. 『去年マリエンバートで』 (L'Année dernière à Marienbad) の詩学
5. 『アリゾナ・ドリーム』 (Arizona Dream) の〈夢〉
6. グリーナウェイ (Greenaway) の毒
——『建築家の腹』 (The Belly of an Architect)
7. 『ブレード・ランナー』の描く虚なる未来
8. ウェイン・ワン——『スモーク』 (Smoke)
9. 『エドワードII』——デレク・ジャーマン (Derek Jarman)
10. ヴィム・ヴェンダース (Wim Wenders)
——『夢の涯てまでも』 (Bis ans Ende der Welt)
11. 『時の翼にのって』
12. 『赤い薔薇ソースの伝説』
13. ペドロ・アルモドバル (Pedro Almodóvar) 『キカ』 (Kika)
14. 『ピロスマニ』の詩

III 幻影の荒野へ

1. 『白馬の伝説』の神話
2. 『ベルリン・天使の詩』 (Der Himmel über Berlin)
3. 『アンドレイ・ルブリョフ』 (Андрей Рублёв) の映像美
4. 魂に水路をひく〈霊気〉——『ノスタルジア』 (Nostalghia) に
5. タルコフスキー——『ノスタルジア』 (Nostalghia)
6. 『サクリファイス』の彼方へ
7. 悪夢の『デリカテッセン』 (Delicatessen)
8. 『ピアノ・レッスン』にみる〈霊の力〉
9. 映像画家としてのパラジャーノフ
10. 『赤い影』の〈水〉

あとがきにかえて 思い出の映画館——〈文芸坐〉など

貴店番線

発行: 藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546

月
日

柴橋伴夫 ミクロコスモスVI

シネマの森の中へ

冊

定価3,080円(税込) ISBN 978-4-86538-187-0 C0070 ¥2800E

2026年8月31日 第1刷発行

発行所 藤田印刷エクセレントブックス

判型 A5判(464頁) 上製本

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで